

革新的がん医療実用化研究事業によるアスベスト疾患にかかる研究

本研究事業では、文部科学省・経済産業省と連携し、基礎的・基盤的研究成果を確実に医療現場に届けるため、主に応用領域後半から臨床領域にかけて予防・早期発見、診断・治療等、がん医療の実用化をめざした研究を「健康・医療戦略」及び「がん研究10か年戦略」に基づいて強力に推進し、健康長寿社会を実現するとともに、経済成長への寄与と世界への貢献を達成することをめざす。

過去のアスベスト疾患に関する研究補助

- H30～R2 仲哲治 (高知大学)
『悪性胸膜中皮腫に対するAdSOCS3を用いた新規遺伝子治療の医師主導治験に関する研究』
- H29～R1 村上(渡並)優子 (東京工科大学)
『合成致死表現型を指標とした新規悪性中皮腫治療薬標的の探索』
- H26～H28 金田安史 (大阪大学)
『化学療法に対する抵抗性を克服することを目的とした希少がん(悪性胸膜中皮腫)治療薬開発のための医師主導治験の実施』

現在補助しているアスベスト疾患に関する研究内容

- R3～R4 河野隆志 (国立がん研究センター)
『難治性呼吸器腫瘍等の全ゲノム配列データおよび臨床情報等の収集と解析に関する研究』
肺がん等の呼吸器腫瘍や乳腺腫瘍、泌尿器腫瘍1400例に対して全ゲノム解析および診療情報の取得を行い、「がん全ゲノム解析等におけるゲノム解析・臨床応用に関する研究班」と連携して、データの蓄積・解析を行うことを目的とする。

労災疾病臨床研究事業費補助金によるアスベスト疾患にかかる研究

労災疾病臨床研究事業費補助金とは、労働者の福祉の増進に寄与することを目的として、労災疾病臨床研究、放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究並びに過労死等防止対策推進法に基づく調査研究について補助を行うもの。

過去の研究補助

- H26～H28 岸本卓巳（岡山労災病院）『胸膜中皮腫の的確な診断方法に関する研究－鑑別診断方法と症例収集－』
- H27～H29 森本幾夫（順天堂大学）『悪性中皮腫に対するヒト化抗CD26抗体を基盤とする安全かつ有効な新規併用療法の確立』
- H27～H29 藤本伸一（岡山労災病院）『胸膜中皮腫に対する新規治療法の臨床導入に関する研究』
- H30～R2 森本幾夫（順天堂大学）『悪性胸膜中皮腫のヒト化CD26抗体療法確立のための予後・治療効果予測バイオマーカーの開発』
- H30～R2 藤本伸一（岡山労災病院）『石綿関連胸膜疾患における個別化治療とケアの確立』

現在補助している最新の研究内容

- R3～R5 森本幾夫（順天堂大学）『悪性胸膜中皮腫に対するヒト化抗CD26抗体と免疫チェックポイント阻害薬との革新的併用療法の開発』

多くの悪性中皮腫患者に、より長期間抗腫瘍効果を発揮できる、有効かつ安全な新規治療法の確立を最終的な目標とし、CD26抗体とICIとの併用療法の開発を行う。

- R3～R5 藤本伸一（岡山労災病院）『石綿関連疾患患者を多面的に評価し治療・ケアを提供するチームアプローチの確立』
石綿肺がんおよび胸膜中皮腫の一次治療としてニボルマブ、イピリムマブ併用療法の前向き観察研究を行い、有用性と安全性の検証及び肺がんや胸膜中皮腫などの石綿関連疾患患者に対し、クリニカルパスを作成し導入する。